



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月1日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 金井 哲男 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	151,757	10.8	4,018	180.1	7,028	417.9	4,226	-
2021年3月期第3四半期	136,991	△17.7	1,434	△74.0	1,357	△78.5	47	△98.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 7,273百万円 (57.5%) 2021年3月期第3四半期 4,618百万円 (80.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	104.44	-
2021年3月期第3四半期	1.18	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	287,354	172,827	58.9
2021年3月期	284,906	169,083	58.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 169,198百万円 2021年3月期 165,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	37.50	-	37.50	75.00
2022年3月期	-	37.50	-		
2022年3月期 (予想)				37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	6.5	6,000	47.6	8,500	79.0	2,500	103.2	61.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	42,975,995株	2021年3月期	42,975,995株
2022年3月期3Q	2,507,891株	2021年3月期	2,507,381株
2022年3月期3Q	40,468,389株	2021年3月期3Q	40,469,560株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響はワクチン接種の効果が見られたものの、円安の進行や原燃材料価格の高騰など、依然として厳しい状況が継続しております。

世界経済は、先進国を中心に経済回復の動きが続いておりますが、変異種を主要因とする世界的な感染症拡大が見られ、また、依然として緊張状態にある米中対立の影響や、半導体をはじめとする部品の供給不足による生産活動の停滞、原燃材料価格の高騰など、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は151,757百万円と、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けておりました前年同期比10.8%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比5,671百万円増加の7,028百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4,178百万円増加の4,226百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、10月に価格改定を実施したことに加え、輸出などが好調に推移したものの、構造改善の取り組みとして不採算取引等の見直し、販売・生産拠点の適正規模への縮小、集約を進めたことにより、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、前年同期は新型コロナウイルス感染症の感染防止の為の各自動車メーカーの生産停止の影響、当期は半導体不足及び東南アジアでの新型コロナウイルス感染症の流行拡大による部品供給の混乱による各自動車メーカーの減産影響を受けました。国内については当期の減産影響が長期間に渡っていることにより売上高は前年同期を下回りました。海外については当期もコロナ前の水準には戻ってはいないものの、前年の各自動車メーカーの生産停止による販売の落ち込みが国内より大きかったため、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野において各自動車メーカーの減産影響を受けたものの、電材分野の出荷が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は83,370百万円（前年同期比1.7%増）となり、損益につきましては1,858百万円の営業損失（前年同期比1,001百万円の改善）となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、主力のハイドロフルオロレフィン製品が、次世代溶剤の販売が好調に推移し、断熱用発泡剤も国内外で出荷量が増加したことから、売上高は前年同期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、堅調な半導体需要により、半導体用途の特殊ガス関連製品の出荷が増加し、農薬関連製品、リチウムイオン電池用電解液製品の販売が好調に推移した事に加え、医療品関連製品の販売も若干持ち直したため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、価格値上げ改定の影響による前倒し需要などにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は68,387百万円（前年同期比24.3%増）となり、損益につきましては5,877百万円の営業利益（前年同期比1,582百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、株価の下落などで投資有価証券が1,682百万円減少する一方、売上債権及び契約資産が4,203百万円、棚卸資産が4,980百万円それぞれ増加したことなどにより、2,448百万円増加し287,354百万円となりました。

負債は仕入債務が4,153百万円増加する一方、借入金金が5,876百万円減少したことなどにより、1,296百万円減少し114,526百万円となりました。

純資産は株価の下落によりその他有価証券評価差額金が1,732百万円減少する一方、利益剰余金が1,150百万円、為替換算調整勘定が4,348百万円それぞれ増加したことなどにより、3,744百万円増加し172,827百万円となりました。また、自己資本比率は0.8%増加し58.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く事業環境につきましては依然として厳しい状況が続いており、先行きの不透明感が強いものの、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、通期の業績予想を見直しました結果、第2四半期連結累計期間時に算定し修正した通期の業績予想から大幅な乖離がないため、2021年11月1日に公表いたしました通期の業績予想は修正しておりません。

この連結業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,975	23,845
受取手形及び売掛金	47,470	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	51,673
商品及び製品	28,737	30,502
仕掛品	4,156	4,710
原材料及び貯蔵品	18,774	21,436
その他	5,190	5,346
貸倒引当金	△192	△214
流動資産合計	132,113	137,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,906	28,847
機械装置及び運搬具（純額）	43,118	42,029
土地	24,673	24,094
建設仮勘定	3,530	3,623
その他（純額）	4,154	3,904
有形固定資産合計	103,382	102,500
無形固定資産		
その他	1,376	1,160
無形固定資産合計	1,376	1,160
投資その他の資産		
投資有価証券	42,514	40,832
その他	5,639	5,681
貸倒引当金	△120	△121
投資その他の資産合計	48,034	46,392
固定資産合計	152,793	150,054
資産合計	284,906	287,354

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,493	22,647
短期借入金	8,419	7,682
1年内償還予定の社債	10,400	—
未払法人税等	1,406	914
賞与引当金	1,370	384
その他	19,026	32,910
流動負債合計	59,116	64,538
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	23,884	18,745
役員退職慰労引当金	3	3
特別修繕引当金	3,418	3,739
事業構造改善引当金	1,360	945
環境対策引当金	36	38
退職給付に係る負債	5,454	5,353
その他	2,548	1,162
固定負債合計	56,706	49,988
負債合計	115,822	114,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	131,205	132,356
自己株式	△6,401	△6,402
株主資本合計	151,082	152,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,859	15,127
繰延ヘッジ損益	156	33
為替換算調整勘定	△3,404	944
退職給付に係る調整累計額	878	860
その他の包括利益累計額合計	14,491	16,966
非支配株主持分	3,509	3,629
純資産合計	169,083	172,827
負債純資産合計	284,906	287,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	136,991	151,757
売上原価	110,103	121,641
売上総利益	26,887	30,116
販売費及び一般管理費	25,453	26,097
営業利益	1,434	4,018
営業外収益		
受取利息	29	20
受取配当金	711	755
持分法による投資利益	317	643
為替差益	—	221
受取保険金	1,381	951
その他	849	1,761
営業外収益合計	3,289	4,354
営業外費用		
支払利息	336	247
為替差損	637	—
固定資産廃棄損	445	355
災害による損失	1,361	289
その他	586	452
営業外費用合計	3,367	1,344
経常利益	1,357	7,028
特別利益		
固定資産売却益	0	512
投資有価証券売却益	524	128
事業譲渡益	—	326
特別利益合計	524	968
特別損失		
固定資産売却損	19	—
投資有価証券売却損	3	—
投資有価証券評価損	—	11
事業構造改善費用	135	1,411
関係会社清算損	1	—
特別損失合計	161	1,423
税金等調整前四半期純利益	1,720	6,573
法人税等	1,176	1,915
四半期純利益	544	4,658
非支配株主に帰属する四半期純利益	496	431
親会社株主に帰属する四半期純利益	47	4,226

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	544	4,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,301	△1,732
繰延ヘッジ損益	394	△123
為替換算調整勘定	△1,702	4,044
退職給付に係る調整額	126	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△45	444
その他の包括利益合計	4,073	2,614
四半期包括利益	4,618	7,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,162	6,701
非支配株主に係る四半期包括利益	455	571

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、顧客への製品の販売における当社の役割が代理人に該当する取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、純額で収益を認識する方法に変更しております。また、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売促進費の一部を、売上高から控除しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,039百万円、売上原価は1,206百万円、販売費及び一般管理費は734百万円、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は98百万円それぞれ減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は40百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- 1 前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,960	55,031	136,991	—	136,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	806	816	△816	—
計	81,969	55,838	137,807	△816	136,991
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△2,859	4,294	1,434	—	1,434

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

- 2 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,370	68,387	151,757	—	151,757
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	742	751	△751	—
計	83,379	69,130	152,509	△751	151,757
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△1,858	5,877	4,018	—	4,018

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。